

情報学部

データサイエンス学科

情報学部での学び

現代社会は情報に満ち溢れています。解決すべき問題も多種多様です。わたしたちの生活をより豊かにするためには、膨大なデータから有益な情報を見つけ出し、活用する力が不可欠で、この力はこれから訪れる「超スマート社会」で文理の区別なく求められるものです。本学部では、データや情報を扱うための基礎知識と「問題発見力・問題解決力・コミュニケーション力」を身につけ、さまざまな業種で活躍できる人材を育てることをめざします。

幅広い分野を学び多角的な視点を養う

データを数学的に扱う数理科学、データをプログラミングや人工知能(AI)により処理する情報科学、社会の課題を発見し、データから創造された新たな価値を社会に還元する社会科学などを学びます。

情報学部をもっと知る



Admission policy

入学者受け入れの方針
アドミッション・ポリシー

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
2. 情報学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、情報・データサイエンスに関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
3. 高等学校における学習によって、情報学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを用いる力を有している。(知識・技能)

4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
- 以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)
 6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

「教学上の方針」の詳細は
こちらからご確認ください



データサイエンス学科

データを活かし、新たな時代を創り出す人材へ

データを扱うスキルは「新たな教養」。「分析力」と「展開力」をバランスよく身につけ、統計学、プログラミング、AI技術などを用いて社会やビジネスの課題解決をめざします。



データサイエンス学科をもっと知る



専門分野

情報科学

プログラミング、Webやスマートフォンのアプリケーションの設計・開発、AI、IoT、バーチャルリアリティ、ドローンやロボットの応用など幅広い学びと研究を行います。

数理科学

データサイエンスやAI、情報通信などの仕組みを理解するために必要な数学や自然科学を学修。数学教員をめざす学生には、教育現場での実践力を養う数学教育も行います。

社会科学

社会学や経営学をベースに、調査データに基づく分析と研究の方法を学びます。社会ネットワーク、ゲーム文化、地域連携やマーケティングなど、さまざまなデータを活用します。

最新の学科担当教員はこちら



Topics

学科の特色1

楽しい学びから プログラミングに親しむ

「情報学演習A・B」では、各教員が専門分野に基づいた演習を行います。例えば、情報系の教員の演習では、スマートフォンやWebのアプリケーション、ゲームの制作、AIやIoTの基礎、ロボットの制御など、教員それぞれの専門性に合わせたトピックを取り上げ、プログラミングを通して基礎的なスキルを磨きます。データサイエンス学科では、3年次に開講されるこの情報学演習を通して、豊かな発想力を育みつつ、4年次の総合研究に必要な基礎をしっかりと固めます。



Topics

学科の特色2

すべての学生が基礎から学び 社会で生きる専門性を身につける

1、2年次では、情報科学・数理学・社会科学、各分野の基本事項を理解するための科目を設置し、入学前のデータサイエンスについての学習度合に関係なく、基礎から学ぶことができます。3年次以降は、数理学科目群では基礎数学のほか、データを扱う上で必要な暗号なども学び、情報科学科目群では主にプログラミングやAIの知識を深めてデータ活用力を養います。社会科学科目群では人々の社会での活動から生まれるデータの解析方法や活用方法について学びます。データサイエンス学科では、このような学びを通して新たな価値を創出し、社会に還元できる専門性を身につけます。



情報技術は新たな時代の必須スキル 笑顔あふれる社会づくりに貢献したい

1年 佐藤 尚輝 さん
(宮城県／東北学院榴ヶ岡高等学校出身)

これからの時代に情報やデータを扱うスキルは必須だと考え、データサイエンス学科を志望しました。期待した通り興味深い授業の連続で、1年次からプログラミングや社会調査論、経営学、数学など幅広く学んでいます。難しい内容も多いですが、時間をかけて取り組みは必ず理解できるし、先生方は学生の質問に真正面から向き合ってくれます。まだ将来の仕事は具体的に決めていませんが、「どんな人も公平に笑顔にしたい」が信念。データサイエンスの知識とスキルを活かして世の中にインパクトを与えられたら、すごくいいと思います。

東北学院大学の魅力には、「駆け込み寺」のような場所がいくつもあることだと思います。勉強が分からないとき、何か活動がしたいとき、必ず相談できる場所があって、安心して大学生活を送っています。

